

講座	セミナー内容	講師
第1講座	<p>社労士業界の時流および人事労務顧問を再構築すべき理由</p> <p>▼ポイント</p> <p>①2026年の社労士業界の動向、主となる商品や販促 ②成長の壁を乗り越えるために必要な「人事労務顧問の再構築」 ③安定成長している事務所が取り組む、助成金よりも安定的で代行業務より高生産的な「松竹梅化された人事労務顧問」の全貌</p>	<p>株式会社船井総合研究所 社労士グループ マネージャー 岩本 和真</p> 
第2講座	<p>単価アップと新規販促強化による、昨対売上120%超の秘訣とは？</p> <p>▼ポイント</p> <p>①顧問再構築に踏み出した経緯、乗り越えた壁や乗り越え方 ②ブラックボックス化した顧問業務を可視化・標準化し、顧客への価値の見せ方をアップデートし、顧問単価を向上させた方法 ③料金表改訂と業務範囲見直し</p>	<p>社会保険労務士法人Fiori 代表 大木 莉沙氏</p> 
第3講座	<p>クラウド活用で人事労務DXに取り組む急成長事務所の成功事例解説</p> <p>▼ポイント</p> <p>①MoneyForwardを積極活用！給与計算クラウド化により、顧問業務の効率化へ ②給与計算代行の受託前のカギ。クラウド導入支援による、顧問業務の負担へ</p>	<p>社会保険労務士法人 ONE HEART 代表 吉田 優一氏</p> 
第4講座	<p>代表だけが忙しい状態や閉塞感を打破し、持続的な成長未来を描くために社労士事務所経営者が進むべき第一歩</p>	<p>株式会社船井総合研究所 社労士グループ チーフコンサルタント 飛田 聖陽</p> 
第5講座	<p>経営者に“今”考えてほしいこと</p>	<p>株式会社船井総合研究所 社労士グループ マネージャー 岩本 和真</p> 

採算の合わない業務や低単価で「給与計算はもう受けたくない!」と悩んでいませんか？  
業務の標準化⇒クラウド化⇒AI活用で

# 社労士顧問改革

社労士顧問を再構築し、新規顧問獲得に向けた土台作り



助成金はほぼなしで  
売上1,000万円増加!



営業・業務の見直しと販促強化による業績UP・標準化ノウハウを伝授

社会保険労務士法人  
Fiori  
代表  
大木 莉沙氏

マネーフォワード特化社労士



クラウド導入を積極的に提案フルリモートでも業務が回る秘訣公開

社会保険労務士法人  
ONE HEART  
代表  
吉田 優一氏

開催日時	※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。	開催方法 オンライン開催 (ログイン開始:開始時間30分前~)
	2026年 3月16日(月) 10:00~13:00	
受講料	一般価格 税抜 30,000円(税込33,000円) / 一名様 会員価格 税抜 24,000円(税込26,400円) / 一名様	お申込み期日 銀行振込み : 開催日6日前まで クレジットカード: 開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合がございます。
	●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。	

**お申込み方法**

【QRコードからのお申込み】  
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】  
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/138199>  
船井総研ホームページ (<https://www.funaisoken.co.jp>) の右上検索マークから「138199」をご入力し検索ください。



【お問い合わせ】  
船井総研セミナー事務局 E-mail [seminar271@funaisoken.co.jp](mailto:seminar271@funaisoken.co.jp) TEL 0120-964-000(平日9:30~17:30)  
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

# 社労士事務所の低生産性の理由は、代行業務のムリ・ムダ・ムラにあり

このようなお悩みをお持ちの皆様

顧問単価を上げて  
顧問業務の  
生産性を上げたい

給与計算を理由に  
職員が退職する

クラウド化やAI活用によって  
事務所DXを進めたいが  
やり方が分からない

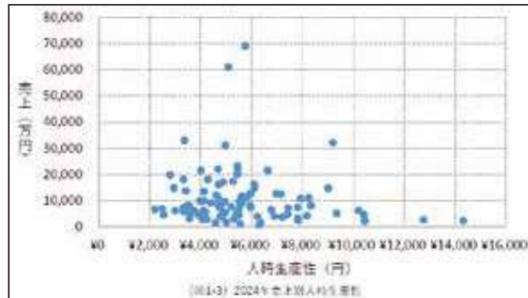
## 組織化社労士事務所における『人時生産性6,000円の壁』

顧問単価を上げたくても生産性が追いつかず、給与計算を理由に職員が辞めていく。クラウド化やAI活用でDXを進めたいが、何から手をつけるべきか分からない。その根本原因は、実は日常の代行業務における「ムリ・ムダ・ムラ」に潜んでいます。

**ムリ:** 物理的・精神的負担が過剰な状態。給与計算のような繰り返し作業が属人化し、特定の職員に負担が集中していませんか？ その結果、疲弊し、退職へとつながります。

**ムダ:** 本来必要のない非効率な作業。手作業での二重入力、紙ベースでのやり取り、情報共有の遅れなど、生産性を著しく阻害する業務がありませんか？ これらが顧問単価を上げる足かせとなっています。

**ムラ:** 担当者や時期によって業務の質や量にバラつきがある状態。特定の時期に業務が集中し、職員の稼働率に大きな差が出ていませんか？これが人時生産性を安定させられない原因です。



引用・参照：株式会社船井総合研究所 社労士事務所向け経営研究会の2025年会員集計データより

## ゲスト講師のココが凄い！



社会保険労務士法人Fiori  
代表 **大木 莉沙 氏**  
2009年埼玉にて開業  
2017年法人化  
現在、約100社以上に携わっている。規模は3名~1500名まで幅広く対応している。

### ポイント①

料金表改訂で  
1社あたりの  
平均顧問料2万円/月  
のUPに成功

### ポイント②

「顧問」の定義を  
明確にし、  
就業規則を受注

### ポイント①

マネーフォワードに  
特化した社労士  
プラチナ会員

### ポイント②

全社員フルリモートが  
可能な体制を実現

### ポイント③

クラウドに強い社労士  
として、クラウド導入  
支援を顧問の  
入り口として提供



社会保険労務士法人ONE HEART  
代表 **吉田 優一 氏**  
2021年東京港区にて事務所  
開業 開業僅か4年で所員8名の  
御組織事務所へ急成長。  
ITやDXに強い社労士として  
活躍中。

# 顧問業務の改革は標準化・クラウド化・AIがカギとなる

## STEP 1

### 標準化

## 標準化で効率化とサービス品質の担保の両方を実現

顧問業務で提供する内容、顧問業務後に手続き代行や給与計算代行等を受注し、立ち上げまでの期間や平行期間のスケジュールなどが代表や担当の「経験則」でバラバラになっていることが多いです。しかし、生産性が高い事務所や単価の高い事務所は、いつ何をするのか、顧問業務のサービス内容などを標準化しています。

### 標準化のサンプル資料



松竹梅化した労務相談質問等のサービスメニュー資料

契約後の立ち上げを標準化した顧客向け案内資料

顧問業務の範囲を可視化した表

## STEP 2

### クラウド化

## 業務システムのクラウド活用

顧客情報や給与計算データを安全に管理・共有する基盤です。これにより、リモートワークや顧客とのリアルタイムな情報連携が可能になり、業務効率が期待できます！



社労士事務所に特化したDXジャーニーマップ全体戦略を描くことが必要です

顧客向けクラウドシステム提案資料

## STEP 3

### AI活用

## ルーティンワークは自動化へ！

勤怠データの計算など、手作業とヒューマンエラーを大幅に削減します。さらに、AIは法令改正情報の自動収集や書類作成支援にも応用でき、顧問業務全般のアシスタントとして機能します。



社労士顧問・給与計算代行の改革は

この**3ステップ**で行うべし！

給与計算代行を単なる作業から高付加価値サービスへと進化させるには、明確な戦略が必要です。今、この改革を始めるべき最大の理由は、企業からのアウトソーシングニーズが急増しているからです。複雑な労務管理に頭を悩ませる企業が増え、社労士事務所に専門家の助けを求める声が大きくなっています。この波に乗り遅れば、業務効率が上がらないまま、職員の負担が増大し、せっかくのビジネスチャンスを逃してしまいます。改革の第一歩は、業務のバラつきをなくすための標準化です。誰が担当しても同じ品質でサービスを提供でき

る基盤を築きましょう。次に、標準化した業務をクラウドシステムへと移行するクラウド化です。紙やFAXによる非効率なやり取りをなくし、顧問先とのデータ連携をスムーズにすることで、顧問業務に時間を使えるようになります。最後に、給与計算や書類作成にAIを導入し、ルーティンワークを自動化します。これにより、職員は人にしかできないコンサルティングに集中でき、事務所全体の生産性が飛躍的に向上します。この3ステップで、顧問単価を上げる絶好の機会を掴みましょう。



株式会社船井総合研究所  
社労士グループ マネージャー  
**岩本 和真**

本セミナーでは代行業務の事業化による、社労士事務所の生産性向上と、顧客への提供価値最大化のヒントをお届けします